

平成23年度定期作況報告

7月20日現在
北海道立根釧農業試験場

．気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象概況は次のとおりである。

6月下旬：最高気温は21.1 で平年より1.6 高かったが最低気温が9.2 で平年より1.0 低かったため、平均気温は15.2 で平年並であった。降水量は38mmで平年並であった。日照時間は48.3時間で平年より6.7時間多かった。

7月上旬：最高および最低気温は23.9および13.6 で、それぞれ平年より5.0および2.7 高かったため、平均気温は18.8 で平年より3.9 高かった。降水量は27mmで平年並であった。日照時間は58.5時間で平年より26.3時間多かった。

7月中旬：最高および最低気温は21.2および13.0 で、それぞれ平年並であったため、平均気温は17.1 で平年並であった。降水量は31mmで平年より19mm少なかった。日照時間は28.7時間で平年並であった。

この1ヶ月間は、7月上旬の極高温、極多照が特徴的であったが、総じて気温はやや高く、降水量は平年並、日照時間はやや多く推移した。

気象表

項目	6 月 下 旬			7 月 上 旬			7 月 中 旬			平均または合		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比
平均気温 ()	15.2	14.9	0.3	18.8	14.9	3.9	17.1	16.6	0.5	17.0	15.5	
最高気温 ()	21.1	19.5	1.6	23.9	18.9	5.0	21.2	20.6	0.6	22.1	19.7	
最低気温 ()	9.2	10.2	1.0	13.6	10.9	2.7	13.0	12.5	0.5	11.9	11.2	
降水量 (mm)	38.0	38.0	0.0	27.0	34.0	7.0	31.0	50.0	19.0	96.0	122.0	2
降水日数 (日)	5	5.1	0.1	3	4.4	1.4	4	5.1	1.1	12	14.6	
日照時間 (時間)	48.3	41.6	6.7	58.5	32.2	26.3	28.7	28.3	0.4	135.5	102.1	3

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況： 平年並

事 由

6月下旬以降、気温は平年並か高く推移したため、とうもろこしは順調に生育している。平年（参考値）と比べ、とうもろこしの草丈は高いが、葉数は同程度である。

このことから、目下の作況は平年並と判断される。

品 種 名	草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	101	-	-	10.8	-	-
(ぱぴりか)	105	95	10	10.5	10.3	0.2

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 「たちぴりか」は、一部の作況調査項目について過去のデータ蓄積が不足しているため、参考として、「ぱぴりか」における調査結果を下段に記載する。

4) 「ぱぴりか」の平年値は、前7カ年のうち、最豊作の平成19年および最凶作の平成21年を除く5カ年の平均値である。

5) は減を表す。

2. 牧草

(1)採草型(チモシー単播)

作況：1番草 並

2番草 並

事 由

1番草：出穂期は2年目、3年目ともに6月26日で平年より1日遅かった。草丈は2年目草地では106cm、3年目草地では111cmで平年並であった。乾物収量は2年目草地は627kg(平年比96%)、3年目草地は639kg/10a(平年比101%)であった。5月は低温に推移し生育が遅れたが、6月の気温が総じて平年並みに推移したため生育が回復したと考えられた。

以上のことから本年1番草の作況は並である。

草 地	1番草 出穂期(月.日)			1番草 刈取日(月.日)			1番草刈取時草丈(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	6.26	6.25	1	6.27	6.25	2	106	108	2
3年目	6.26	6.25	1	6.27	6.25	2	111	108	3

	1 番 草					
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較(平年比指数)
2年目	3105	3134	29	627	652	25 (96)
3年目	3285	2943	342	639	631	7 (101)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成16～22年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。

3) は減を示す。

2番草：7月20日現在のチモシーの草丈は37～39cmで平年より1～3cm高い。従って現時点での2番草の作況は並と判断される。

	2 番草 7月20日草丈(cm)					
	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
チモシー単播	37	36	1	39	36	3

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成16～22年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。

(2)放牧型（オーチャードグラス単播）

作況：2番草 並

作況：3番草 並

事 由

2番草：1番草の刈取り以降、気温が平年並に推移したことから生育が回復し、平年と比較して草丈が2～6cm低く、乾物収量は3年目で197kg/10a（平年比89%）であったが、2年目では192kg/10a（平年比108%）とやや多収になった。以上のことから放牧型2番草の作況は並である。

3番草：2番草刈取り後、気温はやや高めに推移しているため、7月20日現在の草丈は平年より2～9cm高く、現時点での作況は並と判断される。

草 地 草種	2 番 草						3 番 草		
	刈取り月日			草 丈 (cm)			7月20日草丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目 OG単播	7. 1	7. 1	0	65	67	2	53	51	2
3年目 OG単播	7. 1	7. 1	0	58	64	6	59	50	9

草 地	2 番 草					
	生草収量 (kg/10a)			乾物収量 (kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較 (平年比指数)
2年目 OG単播	1007	1024	17	208	192	16 (108)
3年目 OG単播	826	1025	199	174	197	23 (89)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成16～22年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。

3) は減を示す。